
令和5年度
学生募集要項

2023

大学院美術工芸研究科

修士課程

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

大 学 概 要

1. 教育目的及び入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	1
2. 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)	4
3. 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)	4

令和5年度 金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科（修士課程）学生募集要項

1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願期間・出願方法等	6
4. 試験日程及び試験内容	14
5. 配点及び採点基準	17
6. 選抜方法	19
7. 試験場所	19
8. 合格発表	19
9. 入学手続期間	19
10. 入学金・授業料	19
11. その他の納入金	20
12. 個人情報の取扱い	20
13. 新型コロナウイルス感染症等に関して	20
※ 指導教員	21
※ 入学者選抜試験日程	23
※ 研究計画書	24
※ 提出作品・論文等添付用紙	25
※ 金沢美術工芸大学のキャンパス移転について	26
※ キャンパスレイアウト・交通アクセス	27

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科修士課程

1. 教育目的及び入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科は、「地域の美術工芸の伝統を踏まえ、美術、工芸、デザインにわたり、造形芸術に関する高度な理論、技術及び応用を研究教授し、その深奥を究めて、文化の創造、進展に寄与することを目的」としています(大学院学則第1条)。

大学院における前期2年間の修士課程では、広い視野に立って精深な学識を授け、芸術の各分野における創造、表現若しくは研究能力又は芸術に関する職業等に必要の高度な能力を養います。

このことから、大学院美術工芸研究科修士課程では、専攻ごとに、次のとおり教育目標を定め、個別の選抜試験を行っています。修得しておくべき知識、技能を「求める学生像」として専攻ごとに記載しています。

《絵画専攻 日本画コース》

教育目標

日本画において専門的かつ広い見識を深めるとともに、創造性に富んだ高度な内容の研究制作を行います。また、各種展覧会への出品など発表活動も推奨し、自己の作品の評価を広く世に問う姿勢を養います。さらに、理論的知識を深め、日本画技法の研究を踏まえた、自由かつ独自の発想に基づいた創造表現の世界を追究することで、作家、研究者、指導者として広く芸術文化の発展に寄与する人材の育成を目指します。

求める学生像

- 日本画領域は勿論のこと、絵画表現全般における基礎的知識と技術を有する人
- 専門性の向上及び表現の修練と研鑽を通し、次世代の優れた表現を志す人
- 意欲的に研究成果発表を行い、広く社会に通じる絵画表現の展開を志す人

《絵画専攻 油画コース》

教育目標

個性と表現の確立を目指し、現代の絵画表現に対応した教育研究を行います。研究制作の場では技法研究や見学・取材活動により芸術表現についての見識を深め、作品化に向けて着実に研究を進める姿勢を養います。また、学外における個展、公募展等の発表活動を奨励し、将来に向けた制作や専門領域の研究、留学についての助言を与え、作家、研究者として美術界や美術教育及び地域文化の発展に寄与する人材の育成に努めます。

求める学生像

- 絵画に関する知識と技術を用い、自主的に研究制作が行える人
- 高度な表現技術を求め、研究成果を国際的に発信する意欲を持った人
- 美術教育や地域文化の発展に高い目的意識を持って臨む人

《絵画専攻 映像コース》

教育目標

現実の変化を捉える観察を基礎とし、多角的な映像表現の探求を目標とした教育研究を行います。制作・研究の場では技術の修得によって映像表現についての見識を深めるとともに、作品の完成に向けて丁寧に課題の解決を目指します。学外での作品発表を奨励し、専門領域の研究についての助言を与え、作家、研究者として国際的に広がる映像文化と地域社会の発展に寄与する人材の育成に努めます。

求める学生像

- 映像に関する知識と技術を用い、自主的に研究制作が行える人
- 高度な表現技術を求め、研究成果を国際的に発信する意欲を持った人
- 映像文化や地域社会の発展に高い目的意識を持って臨む人

《彫刻専攻》

教育目標

制作・研究活動での専門性の深化をより可能とするため、本専攻では、塑造、木彫、石彫、金属彫刻等の制作を行う「彫刻コース」と、コンセプチュアルな造形やジャンルを横断した造形等に対応する「環境彫刻コース」を設けています。両コースは、相互に交流を図りながら、自由かつ柔軟な発想で独創的な制作や研究活動を進めています。これらの活動の中で自身の能力を存分に発揮し、創造性を高め、作家、研究者、指導者として現代社会や芸術文化発展に貢献し得る人材の育成を目指します。

求める学生像

- 制作、研究意欲が旺盛で論理的思考力に優れ豊かな自己表現ができる人
- グローバルな視野を持ち、活動を世界に展開できる人
- 斬新な発想力を持ち、表現者や教育者として地域や社会に貢献できる人

《芸術学専攻》

教育目標

学部の教育方針を基盤としつつ、美学・現代評論、現代美術領域制作・理論、視覚文化研究・近現代工芸史、日本・東洋美術史、西洋美術史の5つの専門分野を置き、学術的により高度な研究を行います。また、技法・素材の専門的、実際的な情報が豊富な美術大学の特性を生かしつつ、金沢を中心とした美術館・博物館施設を活用した現場研修や展示企画も指導しています。国内外での実地調査や研究成果の公開を支援し、理論と実践を兼ね備えた美術の専門研究者の育成を目指します。

求める学生像

- 学部での成果をもとに、問題意識をさらに深めて学術的に追究することに意欲のある人
- 芸術学領域の専門研究に必要な語学力を有し、調査研究能力に優れた人
- 高度な学術的成果を芸術の専門分野で展開し、社会に貢献できる人

《工芸専攻》

教育目標

工芸専攻では、陶磁、漆・木工、金工、染織の専門的なコースの下で、学部での研究制作を基礎とし、より高度な表現能力と論理的な思考力を身につけることを目標とします。演習に重点を置き、歴史的な考察や、素材と技術についての探究を通し、各自の研究制作を強化します。常に時代を切り拓く創造的な表現を追究し、多様化する現代の要求に対応し社会に貢献し得る作家、デザイナー、研究者、指導者の育成を目指します。

求める学生像

- 各専門分野に関する基礎的な技術と知識及び表現力を有する人
- 素材の可能性と表現について探究心旺盛で、これからの創造的な工芸の世界を切り拓くことに意欲のある人
- 作家・研究者及び指導者として広く社会に貢献し、活躍することを志す人

《デザイン専攻 視覚デザインコース》

教育目標

幅広い視覚デザインの領域の中から、一人ひとりの研究計画に合わせて、専門性を持った教員が一丸となって指導にあたります。高度な社会性と国際性を修得し、実践的なカリキュラムを通じてクリエイティブに不可欠なアイデア発想能力とコミュニケーション表現技術を身につけることで、広い分野で活躍できるクリエイターの育成を目指します。

求める学生像

- 視覚デザインの専門性を深め、主体的に研究を追求する意欲のある人
- 斬新な発想力を持ち、柔軟性と独創性に優れ、もの作りに喜びを感じる人
- 社会との関わりを大切にし、人と人がつながる事に喜びを感じる人

《デザイン専攻 製品デザインコース》

教育目標

デザイナーとしての明確な研究目標を持たせ、高度な水準の実証的デザインを推進し実現する力を養成します。教育にあたっては、教員それぞれの専門領域に根ざした論理的思考や、探究力、表現力、伝達力などを実践的な形で丁寧に指導しています。調査、企画、仮説モデルの展開と検証、1/1モデル制作等を徹底して追究し、時代をリードする完成度の高い製品提案を行える人材の育成を目指します。

求める学生像

- 製品デザインの技術や知識を磨いて、デザイナーとして活躍する目標を抱いている人
- 自分の目標とする主な製品デザイン領域をしっかりと考えている人
- 人の生活と向き合う真摯な態度と、デザイナーとしての創造力や独創力を発揮する意欲をもっている人

《デザイン専攻 環境デザインコース》

教育目標

将来の活動領域に応じて空間デザインに関わる専門能力(構想する力、設計する力、表現する力)を確立・深化するため、指導教員がマンツーマンで研究制作活動を指導します。同時に、造形における幅広い知識と教養を身につけるため、共通選択科目により、国際的視野と領域拡大の基礎を養います。またコンペティションや地域連携事業を自主的な制作・発表の場と捉え、社会及び世界との関わりを重視したカリキュラムとしています。以上を修得した人材を送り出します。

求める学生像

- 空間デザインの専門性をさらに深めようとする人
- コミュニケーション力を養い、ディレクション能力を高めようとする人
- 実務的な能力を高め、社会との接点を見出そうとする人

2. 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

修士課程においては、美術、工芸、デザインに関する高度で自立した創作・研究活動を可能にするため、学生の個性に基づいた「多様化」を尊重し、表現の「自由化」と「言語化」及び教育の「高度化」を推進し、地域と国際社会における「社会化」を実践する能力の育成を教育の指針にしています。

教育課程においては、これらの教育の指針や各専攻の教育目標を具体化した演習、講義科目をコースワークとリサーチワークとして編成し、選択・必修科目として、各専攻・コースの専門性に沿って科目の配置を行い、『研究指導計画書』に基づいて指導を行っています。研究の集大成として修士作品又は修士論文を課し、研究成果の審査を行います。

3. 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科は、大学院学則第1条において、「地域の美術工芸の伝統を踏まえ、美術、工芸、デザインにわたり、造形芸術に関する高度な理論、技術及び応用を研究教授し、その深奥を究めて、文化の創造、進展に寄与することを目的」としています。

大学院における前期2年間の修士課程においては、大学院学則第2条第3項で定められた目的、「広い視野に立って精深な学識を受け、芸術の各分野における創造、表現若しくは研究能力又は芸術に関する職業等に必要の高度な能力を養うことを目的とする」の達成のために、各専攻では具体的な教育目標を掲げています。

各専攻の教育目標に則って、次の3つの学修成果を修め、所定の単位数を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士作品又は修士論文を提出して、委員会の審査及び試験に合格した者に、修士課程の修了を認定し、修士(芸術)の学位を授与します。

- (1) 絵画、彫刻、芸術学、工芸、デザインの各分野の制作や学術研究における高度で幅広い知識を体系的に修得・理解し、応用できる。
- (2) 固有の芸術領域における創作・研究に求められる高度で専門的な技術や論理的思考力を獲得し、表現活動又は研究活動を積極的に展開できる。
- (3) クリエーター・研究者として独創的で、自由な創作活動又は研究活動を行い、地域社会、国際社会に向けて有為かつ先端的な文化を発信できる。

**令和5年度 金沢美術工芸大学大学院
美術工芸研究科（修士課程）学生募集要項**

1. 募集人員

美術工芸研究科 修士課程

専攻	募集人員
絵画専攻	14人
彫刻専攻	4人
芸術学専攻	4人
工芸専攻	13人
デザイン専攻	6人
合計	41人

2. 出願資格

- (1) 学校教育法第83条に規定する日本の大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年3月31日までに22歳に達する者

※ 出願資格(1)～(8)に該当しない者のうち、出願資格(9)により出願を希望する者は、個別に出願資格の審査を行うので、令和4年10月7日(金)までに本学事務局へ必ず照会し、必要書類を令和4年10月17日(月)までに本学事務局に提出してください。

3. 出願期間・出願方法等

出願方法は、インターネットを利用したWeb出願のみとなります。

詳細は本要項10～13ページの「インターネット出願の流れ」を参照してください。

(1) 事前準備

パソコン等の利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・PCでのインターネット出願では次のWebブラウザを使用してください。 Microsoft Edge 最新版 Google Chrome 最新版 Mozilla Firefox 最新版 Apple Safari 8 以降 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がありますので、複数タブでの同時申込操作は控えてください。 ・スマートフォン、タブレットでのインターネット出願では次のOSを使用してください。 iOS 10.2 以降 Android 4.4 以降 ※各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。
PDF表示・印刷ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・志願票・受験票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が提供しているAdobe Acrobat Reader DC(無償)が必要です。
メールアドレス	<ul style="list-style-type: none"> ・出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 ・ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのEメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp
顔写真データ	<ul style="list-style-type: none"> ・出願前3か月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なし、カラーの顔写真データを用意してください。 ・不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できません。
封筒	<ul style="list-style-type: none"> ・必要書類を提出するため、市販の角形2号封筒等(A4用紙が折らずに入る大きさ)を用意してください。
用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・志願票や受験票を印刷するため、A4サイズ白色の用紙を用意してください。

(2) 出願方法

志願者は、出願期間内に本学ホームページから「金沢美術工芸大学インターネット出願サイト」にアクセスし、必要事項を登録後、「(5)必要書類」を提出期限内に本学事務局に送付又は持参してください。

到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となります。出願が受理されると、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。

※ 送付する場合は、書留速達郵便やEMS(国際スピード郵便)等の配達記録が確認できる方法により提出してください。

※ 送付された必要書類について、本学への到着(配達)有無確認の問い合わせには応じません。

※ 海外から送付する場合は、12月7日(水)までに到着予定日をEメールで本学事務局に連絡してください。

メールアドレス admin(at)kanazawa-bidai.ac.jp (at)は@に置き換えてください。

※ 持参する場合の受付時間は、平日のみ9:00～16:00

(3) 出願期間

インターネット出願登録期間	令和4年12月1日(木) 9:00 ~ 12月7日(水) 17:00
入学考査料支払期間	令和4年12月1日(木) 9:00 ~ 12月7日(水) 23:00
必要書類提出期限	令和4年12月7日(水) (消印有効)

(4) 必要書類提出先(送付又は持参)

〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
金沢美術工芸大学事務局 電話 076-262-3531

※ 出願登録完了後、インターネット出願サイトから「宛名シート」をダウンロードできます。

(5) 必要書類

ア. インターネット出願サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書 類	作 成 方 法
① 志願票	<ul style="list-style-type: none">出願登録完了後に印刷(A4判、カラー)してください。印刷後、登録内容に誤りがあった場合は大学事務局まで連絡してください。入学考査料の支払完了後、登録内容の修正はできません。
② 宛名シート	<ul style="list-style-type: none">出願登録完了後に印刷(A4判、カラー)してください。印刷後、各自が準備する封筒に貼付してください。EMS(国際スピード郵便)や国際宅配便等を利用する場合は、「宛名シート」を使用する必要はありません。

イ. 上記アに加え、各自が準備して大学に提出するもの

○ 志願者全員が提出するもの

書 類	作 成 方 法
③ 研究計画書	<ul style="list-style-type: none">募集要項24ページにある本学所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入して提出してください。なお、手書き又はデータ入力いずれも可能です。様式は、本学ホームページからも印刷可能です。
④ 出願資格を証明する書類及び成績証明書等	<p>a. 大学を卒業した者又は令和5年3月卒業見込の者 出身大学の卒業(見込)証明書及び成績証明書(ただし本学出身者は不要)</p> <p>b. 出願資格(2)により出願する者 学位を授与された者については学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書、授与見込みの者は学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書及び基礎資格となる学校の成績証明書</p> <p>※提出書類が外国語の場合は、日本語の訳を必ず添付してください。(様式任意 A4判、英語の場合は本人翻訳可。それ以外の言語の場合は大使館等公的機関の証明を受けた翻訳文とする。)</p>

○ デザイン専攻志願者が提出するもの

書 類	作 成 方 法
⑤ ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> ・近年2年以内に制作した作品を2点以上含むこと。 ・CDディスク、DVDディスク、USBメモリなどの記録媒体に記録したもの。 ・データサイズは全体で50MB以下とする。 ・提出された記録媒体は返却しません。 <p>※ デザイン専攻では、二段階選抜を行います。一次選抜では、出願時に提出されたポートフォリオを審査し、合格者に対して二次選抜で実技試験、小論文試験及び面接を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオデータの提出にあたっては、所定の「提出作品・論文等添付用紙」を添付し、郵送してください。 ・様式は、募集要項25ページ又は本学ホームページから印刷してください。 ・「提出作品・論文等添付用紙」に虚偽があったことが判明した場合は、合格発表後であっても入学許可を取り消すことがあります。

○ 外国人留学生在が提出するもの

書 類	作 成 方 法
⑥ 旅券(パスポート)のコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・顔写真、氏名が記載されているページのコピーを提出してください。 <p>※入学試験を受ける目的で、日本に入国するためには、自国の日本公館でビザ(査証)を申請することになりますが、必ず入国目的を「受験」のためとして、手続を行ってください。「短期滞在査証」が発給されます。</p>
⑦ 在留カードのコピー(両面)又は住民票の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生在で、現に日本国内に居住している場合は提出してください。
⑧ 日本語能力試験(JLPT)N2相当以上の日本語能力を有していることを証明する資料	<p>次のいずれかの試験の成績証明書等(原本)</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 日本語能力試験 (JLPT) N2(2級)以上(日本国際教育支援協会及び国際交流基金主催) b. 日本留学試験 (EJU) (日本語(読解、聴解・聴読解の合計)) 200点以上(日本学生支援機構主催) c. BJT ビジネス日本語能力テスト400点以上(日本漢字能力検定協会主催) <p>※日本留学試験(EJU)を受験し、出願時点で成績が出ていない場合は「受験票」の写しを提出してください。日本留学試験の結果は、本学が日本学生支援機構から直接入手します。なお、成績が基準に達していない場合は出願を取り下げさせていただきます。</p>

○ その他

- ・疾病などにより、入学試験や入学後の授業で特別な配慮を希望する者は、医師・校医等の作成した診断書を提出してください。
- ・入学後も、官公署、学校その他会社等に在職する者は、所属長の受験許可書(様式任意 A4判)を提出してください。

ウ. インターネット出願サイトからダウンロードして試験当日(作品・論文提出含む)持参するもの

書 類		作 成 方 法
⑨	受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願手続きを行った者のうち、審査のうえ本学大学院が受験資格を有すると認定した者には、令和4年12月23日(金)までに出願時に登録したアドレスへEメールで通知します。通知が到着後、インターネット出願サイトから「受験票」をダウンロードのうえ、各自が印刷(A4判、カラー)し、試験当日に持参してください。 ・ 受験票のダウンロードに関するEメールが届かない場合は、大学事務局まで連絡してください。 ・ 受験票は、入学手続きの際に必要なため、試験終了後も大切に保管してください。
⑩	提出作品・論文等添付用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品・論文及びポートフォリオの提出に当たっては、所定の「提出作品・論文等添付用紙」を添付し、指定日時に持参(論文は郵送等可)してください。 ・ 様式は、募集要項25ページ又は本学ホームページから印刷してください。 ・ 「提出作品・論文等添付用紙」に虚偽があったことが判明した場合は、合格発表後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(6) 入学考査料

入学考査料の支払いは、インターネット出願サイトにおける出願内容の登録後に行います。12ページに記載するいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

入学考査料	支 払 期 間
30,000円	令和4年12月1日(木) 9:00~12月7日(水) 23:00 ※上記期間中、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59まで(ただし、出願登録完了日が支払期限締切日まで4日未満の場合は上記支払期限締切日時が優先)

- ※ 支払期間中に支払いが完了しない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなります。
- ※ 入学考査料の他に、支払手数料等が発生します。
- ※ 一旦納入された入学考査料は返還しません。

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、
出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…研究計画書、各種証明書等



STEP

2



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/kanazawa-bidai/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信> を
クリックしてください。

③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。

④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた【初期パスワード】にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

入学考査料の支払い

*考査料のお支払いには期限があります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

MINI STOP



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

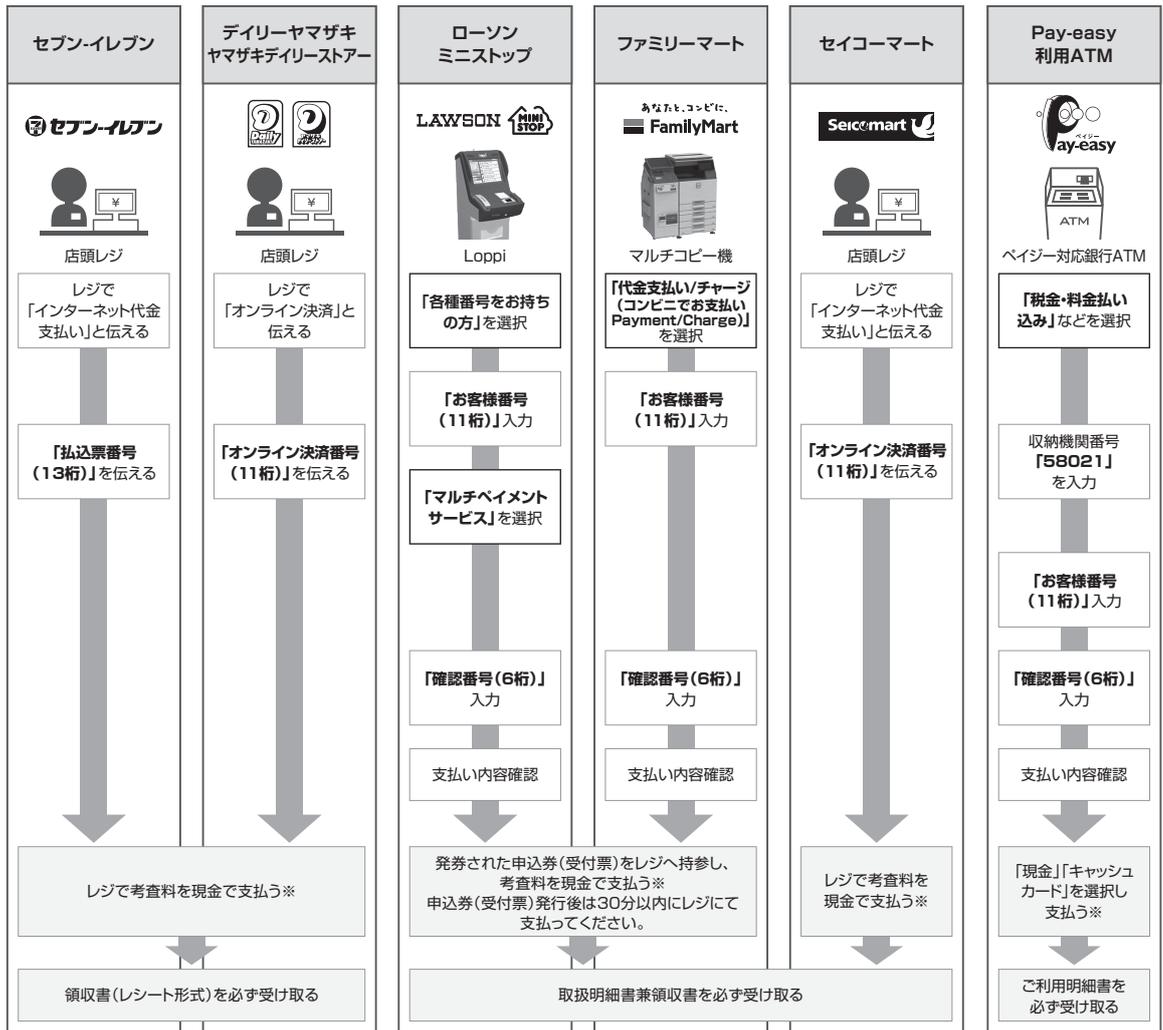
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学考査料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



必要書類の印刷と郵送

***登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。**

出願登録、入学考査料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と合わせて出願期間内に送付又は持参してください。※出願締切日消印有効。

送付先

〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1
金沢美術工芸大学 事務局 行

※出願受理した入学考査料・必要書類は一切返却しません。

志願票等の印刷方法



- (1) マイページに表示された **志願票(印刷)** のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると **志願票(印刷)** のボタンがクリックできるようになりWeb志願票の出力ができます。

<出願完了>

出願時の 注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学考査料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。
登録のみでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日17時まで、入学考査料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

大学で出願を確認後、一斉に受験票を配信します。Web出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**してください。



<入力及び操作に関するお問い合わせ先>

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター(運用会社:株式会社ディスコ)

TEL: 0120-202079 E-Mail: cvs-web@disc.co.jp

※入試・大学についてのお問合せにはお応えできません。まずは、出願サイトの「よくある質問」にてご確認ください。

4. 試験日程及び試験内容

(1) 絵画専攻

専攻	コース	試験日時		試験内容及び持参用具
絵 画 専 攻	日 本 画 油 画 映 像	1月23日(月)	10:00 ～16:00	<p>作品提出</p> <p>日本画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品2点(1年以内に制作したものに限る。) <ul style="list-style-type: none"> ・平面作品(50号以上) ○ポートフォリオ <p>油 画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品2点(1年以内に制作したものに限る。) <ul style="list-style-type: none"> ・平面作品の場合：1点204cm×204cm以内、又は、237cm×192cm以内。額縁付きの場合はその幅を含む。 ・立体作品/その他の場合：1点幅204cm×奥行き204cm×高さ237cm以内。作品設置に時間のかかる作品は避けること。実作品の提出が困難な場合は、映像資料(10分以内)に代えることができる。 ○ポートフォリオ ○素描帳 <p>映 像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品2点(1年以内に完成したものに限る。) Blu-rayプレーヤー、もしくはDVDプレーヤーにて再生可能なファイル形式(BDMV形式もしくはDVD-Video形式) 1点10分以内の映像をBlu-rayディスク、もしくはDVDディスクに記録して提出すること。 ○ポートフォリオ <ul style="list-style-type: none"> 文字と静止画像で構成されたPDF形式(A4サイズ/10ページ以内/30MB以内)のファイルをBlu-rayディスク、もしくはDVDディスクに記録して提出すること。
		1月24日(火)	10:00 ～16:00	<p>(油画・映像コースの提出は1月24日まで)</p>
		1月25日(水)	8:00 ～8:40	<p>(日本画コースのみ)</p>
			9:00 ～11:00	<p>小論文</p> <p>日本画…1,000～1,500字</p> <p>油 画…1,200字程度</p> <p>映 像…1,200字程度</p>
			12:00 ～16:00	<p>実技試験</p> <p>日本画…毛筆画(着彩用具持参)</p> <p>油 画…人体を主としたデッサン又は着彩画(用具持参)</p>
		1月26日(木)	9:00 ～12:00	<p>映 像…直定規を含む筆記用具一式(ただし、コンピュータは使えない。)</p>
			13:00～	面 接

(2) 彫刻専攻

専攻	コース	試験日時		試験内容及び持参用具
彫 刻 専 攻	彫 刻 環境彫刻	1月23日(月)	10:00 ～16:00	作品提出 ○作品1点(1年以内に制作したものに限り。) ○ポートフォリオ 作品点数及び制作年は問わない。各作品の題名、制作年月、サイズ、素材等を記入すること。
		1月24日(火)	10:00 ～16:00	
		1月25日(水)	9:00 ～11:00	小論文(1,200字程度)
			12:00 ～16:00	実技試験…立体造形及び素描(描画用具持参)
		1月26日(木)	9:00 ～12:00	
			13:00～	

(3) 芸術学専攻

専攻	研究分野	試験日時		試験内容及び試験方法
芸 術 学 専 攻	美学・現代評論 現代美術領域 制作・理論 視覚文化研究・ 近現代工芸史 日本・東洋美術史 西洋美術史	提出期間 1月4日(水) 1月6日(金)	9:00 ～16:00	論文又は作品提出 ○論文提出の場合 ・志望の研究分野(美学・現代評論、現代美術領域制作・理論、視覚文化研究・近現代工芸史、日本・東洋美術史、西洋美術史)に関する論文(卒業論文等)又はその複写を3部提出すること。 論文には、2,000字程度の要旨を添えること。 ・受付場所:金沢美術工芸大学事務局 ・郵送又は運送に拠る場合は、封筒の表に「修士課程芸術学専攻試験論文」と朱書きすること。期間内の発送印を有効とする。 ※ただし、本年度に本学芸術学専攻を卒業見込みの者は、論文並びに要旨の提出は不要である。 ○作品提出の場合 ・作品2点(2年以内に制作したものに限り。) ・ポートフォリオ:作品点数及び制作年は問わない。各作品の題名、制作年月、サイズ、素材等を記入すること。提出作品2点の作品画像も含めること。 ・制作論:自身の作品や活動について、社会的・歴史的な文脈と結びつけて論じた、1200字程度の文章
		1月25日(水)	10:00 ～12:00	語学試験 (英語、フランス語、ドイツ語並びに古文(古文書を含む。)及び漢文の4科目から2科目を選択する。)
			13:00 ～15:00	専門試験 (美学、現代美術、日本・東洋美術史、西洋美術史の4科目から2科目を選択受験する。)
		1月26日(木)	13:00～	口述試験

(4) 工芸専攻

専攻	コース	試験日時		試験内容及び持参用具	
工 芸 専 攻	陶 磁 漆・木工 金 工 染 織	1月23日(月)	10:00 ～12:00	作品提出 ○作品2点(2年以内に制作したものに限る。) ○ポートフォリオ 作品点数及び制作年は問わない。各作品の題名、制作年月、サイズ、素材等を記入すること。提出作品2点の作品画像も含めること。 ※作品等の提出は、作品の配置や展示に必要な時間を考慮に入れ、余裕をもって行うこと。	
			13:00 ～16:00		
		1月24日(火)	10:00 ～12:00		
			13:00 ～16:00		
		1月25日(水)	9:00 ～11:00		小論文(1,200字以内)
			12:00 ～16:00		実技試験 持参するもの 陶 磁…筆記用具一式、着彩用具一式 漆・木工…筆記用具一式、着彩用具一式 金 工…筆記用具一式、着彩用具一式、コンパス、金属製30cm定規 染 織…筆記用具一式、着彩用具一式、定規類、コンパス、ハサミ、カッター
1月26日(木)	9:00 ～12:00				
	13:00～	口述試験			

(5) デザイン専攻

専攻	コース	試験日時		試験内容及び持参用具	
デ ザ イ ン 専 攻	視覚デザイン 製品デザイン 環境デザイン	一次選抜	提出期間	作品提出 ○ポートフォリオ ・近年2年以内に制作した作品を2点以上含むこと。 ・CDディスク、DVDディスク、USBメモリなどの記録媒体に記録したもの。 ・データサイズは全体で50MB以下とする。 ・提出された記録媒体は返却しません。 ・出願時の必要書類とともに郵送してください。	
			12月1日(木) ～12月7日(水) 17:00		
		二次選抜	1月25日(水)	9:00 ～12:00	実技試験 持参するもの 筆記用具一式(ただし、コンピュータは使えない。) ※製品デザインコースは着彩用具一式、直定規、三角定規、コンパス ※環境デザインコースは製図板を除く製図用具一式、カッター、金属制定規
				13:00 ～17:00	
1月26日(木)	9:00 ～11:00	小論文(1,200字以内)			
	13:00～	面接 ・視覚デザインコース志願者は、現物作品2点まで持参可。 ・製品デザインコース志願者は、現物作品1点のみ持参可。 ※製品デザインコース志願者の現物作品は、1月25日(水)の実技試験終了後に預かります。 (提出作品・論文等添付用紙を一緒に提出のこと。) ・環境デザインコース志願者は、現物作品の持参不可。			

◎ 注意事項

- (1) 出願 (Web入力) にあたっては、希望する指導教員を志望する専攻のコース等から1名ないし2名を選択してください。なお、入学後の実際の指導教員は、希望をもとに専攻の教員と相談の上、決定します。
- (2) 作品・論文及びポートフォリオの提出にあたっては、所定の「提出作品・論文等添付用紙」(募集要項25ページ又はインターネット出願サイトから印刷したもの)を添付し、指定日時に持参(論文は郵送等可)してください。提出場所は出願完了後、別途通知します。なお、「提出作品・論文等添付用紙」に虚偽があったことが判明した場合は、合格発表後であっても入学許可を取り消すことがあります。また、搬入出は本人立会いのもと各自の責任において行い、作品の返却は、面接後とします。
- (3) 集合時刻は試験開始20分前とします。集合場所は学内の掲示で確認してください。
- (4) 遅刻した者に対する、試験時間の延長は認めません。
- (5) 試験開始後30分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
- (6) 駐車場がありませんので、車での来学はご遠慮ください。

5. 配点及び採点基準

(1) 配点

専攻	内 訳			合 計	備 考
	実技試験	提出作品	小論文		
絵 画	100	120	80	300	日本画/油画/映像
彫 刻	100	120	80	300	彫刻/環境彫刻

専攻	内 訳				合 計	備 考
	語学試験	専門試験	提出論文又は提出作品	口述試験		
芸 術 学	80	80	100	40	300	

専攻	内 訳			合 計	備 考
	実技試験	提出作品	小論文・口述試験		
工 芸	80	120	100	300	陶磁/漆・木工/ 染織/金工

専攻	一次選抜	二次選抜		合 計	備 考
	内訳	内 訳			
	提出作品	実技作品	小論文		
デザイン	100	120	80	300	視覚/製品/環境

(2) 採点基準

専攻		実技試験	提出作品	小論文	その他
絵画	日本画	提示されたテーマに則して発想力・表現力及びそれらについての獨創性を評価する。	主題の明瞭性と個性的表現力及び表現における技術力を評価する。	日本画制作における理念並びに日本画領域の知識及び文章表現力を評価する。	研究計画書・成績証明書並びに面接は評価の参考とする。
	油画	提示された出願に対する理解力と発想力並びに高度な制作研究を可能にさせる描写力と造形性を評価する。	主題の獨創性と造形性並びに表現技法における技術力と完成度に加え、現在に至る制作研究を評価する。	提示された主題に対する理解力と、論理的思考に基づく文章表現力及び研究分野全般に関する知識を評価する。	研究計画書・成績証明書並びに面接は評価の参考とする。
	映像	提示された課題に対する理解力、発想力、展開力を評価する。	主題に沿った表現の具体化と技術的な探求の成果を評価する。	映像表現に関する自らの考えを論述する力を評価する。	研究計画書・成績証明書並びに面接は評価の参考とする。
彫刻		提示された課題に対する理解力、与えられた条件の下での柔軟な発想力及び個性的な表現力を評価する。	現在に至る研究の成果を踏まえた表現力及び造形力、素材及び表現技法に関する専門性を評価する。	提示された課題に対する理解及び基本的な文章表現力、今後の研究を視野に入れた将来展望、計画性を評価する。	研究計画書・成績証明書並びに面接は評価の参考とする。

専攻	語学試験	専門試験	提出論文又は提出作品	口述試験	その他
芸術学	修士課程における研究に必要な専門的語学力を評価する。	修士課程における研究に必要な専門知識、芸術学領域の一般的基礎知識、与えられた課題から問題点を捉える力、論理的な文章の作成力、洞察力を評価する。	研究主題に関する基礎的理解、文献の正しい解釈、柔軟な思考を評価する。	提出論文もしくは提出作品及び語学・専門試験に基づく口述試験において、専門知識を適切に言語化する力、思考力、コミュニケーション能力を評価する。	研究計画書・成績証明書は評価の参考とする。

専攻	実技試験	提出作品	小論文・口述試験	その他
工芸	出題された課題に対する理解力、表現力、創造力及び各専門分野の制作に対する資質を評価する。	現在に至る、各専門分野における研究に必要な技術の習得度及び造形力、表現力、創造力について評価する。	出題されたテーマに対する考え方やその考えを言語化する力、論理的思考力を評価する。	研究計画書・成績証明書は評価の参考とする。

専攻	一次選抜		二次選抜	
	提出作品	実技試験	小論文	その他
デザイン	専門領域のデザインスキルを習得していること。異なる課題に対するバランスのとれたデザイン力を有することや、極めて突出したデザイン力の有無など、日頃の制作活動の質を評価する。	デザインテーマの解釈力、問題解決力、発想力、表現力、造形力、美的完成度など、デザインを実践する専門的な能力を総合的に評価する。	自分の専門とするデザイン領域の現在、及び将来について自らの思想や考えを論述する力を評価する。	研究計画書・成績証明書並びに面接・現物作品は評価の参考とする。

6. 選抜方法

実技試験、提出作品、小論文の得点を合計して総合得点とし、総合得点の上位から順に合格者とします。なお、芸術学については語学試験、専門試験、提出論文又は提出作品、口述試験の得点を合計して、工芸については実技試験、提出作品、小論文・口述試験の得点を合計して総合得点とし、総合得点の上位から順に合格者とします。

また、デザイン専攻では、二段階選抜を行います。一次選抜では、出願時に提出されたポートフォリオを審査し、合格者に対して二次選抜で実技試験、小論文試験及び面接を行います。一次選抜の合格者は、令和5年1月6日（金）午前10時に大学ホームページに掲載します。

7. 試験場所

石川県金沢市小立野5丁目11番1号 金沢美術工芸大学

8. 合格発表

令和5年2月3日（金） 午前10時

合格者の受験番号を学内に掲示するとともに、合格発表日の午前11時（予定）から本学ホームページに掲載します。また、合格者あて合格通知書及び入学手続きに関する通知を郵送します。（合否の問い合わせには一切応じません。）

URL <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

9. 入学手続期間（全専攻共通）

令和5年2月6日（月）～2月13日（月）

平日のみ9:00～16:00

- ・入学手続場所 本学事務局（遠方の居住者は、郵送による手続を認めます。）
- ・期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

10. 入学金・授業料

- | | | |
|---------|----------------|----------|
| (1) 入学金 | 金沢市内居住者及び本学卒業者 | 282,000円 |
| | 上記以外の者 | 423,000円 |

※「市内居住者」とは、次のいずれかに該当する者をいいます。

① 入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する者

② 入学の日の1年以前から引き続き金沢市内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者

※ 入学手続時に納入することとします。

- | | | |
|---------|----|-------------------------------------|
| (2) 授業料 | 年額 | 535,800円（前期・後期に分割し、4月及び10月の末日までに納入） |
|---------|----|-------------------------------------|

11. その他の納入金

成美会会費(後援会費) 30,000円(入学手続き時に1回限り納入)
自治会会費 5,000円(入学手続き時に1回限り納入)

- ※ 入学金等は、改定される場合があります。
- ※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- ※ 願書受理後は、いかなる理由があっても書類の変更及び入学考査料の返還を受付けません。また、納入した入学金等も返還しません。

12. 個人情報の取扱い

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(以下「個人情報保護法」という。)に基づき、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、次のとおりです。

(1) 利用目的について

- ① 入学手続きに係わる業務
- ② 入学後の学籍管理等の修学に係わる業務及び健康診断等の保健管理に係わる業務
- ③ 入学金及び授業料徴収等の納付金管理に係わる業務
- ④ 1年次における入学金免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務
- ⑤ 個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用し、又は第三者に提供することはありません。ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ① 上記(1).①～⑤の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- ② 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - 1) 同窓会
 - 2) 成美会

13. 新型コロナウイルス感染症等に関して

- (1) 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等)に罹患している者は受験できません。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- (2) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師による治癒したとの診断がでていない者は受験できません。
- (3) 日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理を心がけてください。
- (4) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、本要項に記載している内容を変更する場合があります。変更点については、本学ホームページで公表します。

指 導 教 員

専攻	コース 研究分野	担当教員	主な研究内容
絵 画	日 本 画	松崎 十郎 教 授	日本画制作における金属箔・泥等の素材研究及び水・光・時間を主なテーマとする絵画表現研究
		佐藤 俊介 教 授	「徹底した写生」「日本画と情報機器の発展的関係」を軸にした、時代に対する強度及び普遍性を有す日本画制作研究
		荒木 恵信 教 授	自身の主題にそった日本画制作研究、文化財の保存修復に関する研究、絵画材料や技術・図様など絵画表現の分析及び模写研究
		石崎 誠和 准教授	実感を基盤とした日本画の制作研究と文化の混淆による新たな絵画制作原理の研究
	油 画	三浦 賢治 教 授	油彩画技法による絵画表現及び古典絵画技法・材料の研究
		大森 啓 教 授	現代における絵画表現及び技法・材料の研究
		高橋 治希 教 授	絵画及び立体・空間表現作品制作研究
		岩崎 純 准教授	ミクストメディアによる絵画表現及び壁画制作に関する技法・材料の研究
		武田 雄介 講 師	絵画及びインスタレーションの研究
	映 像	鈴木 浩之 教 授	絵画及び映像表現作品制作研究
(未定)		(年度開始時には着任予定)	
彫 刻	彫 刻 環 境 彫 刻	石田 陽介※ 教 授	彫刻制作について具象、特に人体を中心とした塑造及び木彫の表現、並びに素材・技法の研究
		土井 宏二 教 授	土を主な素材とした彫刻作品制作、並びに塑造全般に関する表現の研究
		浜田 周 教 授	金属彫刻作品制作における金属加工技法、並びに金属素材の複合表現の研究
		芝山 昌也 教 授	日本に根差した今日的な彫刻の制作と近現代日本彫刻の調査研究、並びに石材をはじめとした多様な素材・技法の研究
		津田 道子 准教授	インスタレーション、パフォーマンス、映像など様々な方法で、現代において作品を実現するための思考と実践
芸 術 学	美学・現代評論 現代美術領域 制作・理論 視覚文化研究・ 近現代工芸史 日本・東洋美術史 西洋美術史	保井 亜弓※ 教 授	近世北方美術及び版画史を中心とした西洋美術領域の研究
		菊池 裕子 教 授	脱植民するアジアの視覚物質文化史としてのアート・工芸・デザイン史・文化交流史
		水野 さや 教 授	朝鮮半島及び中国東北部(遼・金)の仏教彫刻と建築を中心とした東アジア仏教美術史
		よしだぎょうこ 教 授	専門指導領域として、日本を含む東アジア独自の美術概念をベースにした、即戦力のある現代美術作品制作及び論考・展示表現
		山本 浩貴 講 師	主に欧米と東アジアにおける現代美術の歴史・実践・理論
		(未定)	(年度開始時には着任予定)
工 芸	陶 磁	山本 健史 教 授	陶磁の表現及び理論の研究、ろくろ・型成形を応用した表現及び空間研究、有機物を利用した土のマチエール研究、釉着と釉彩の研究
		池田 晶一 教 授	陶磁の表現及び理論の研究、陶磁におけるデジタル工作機器の活用、石膏型鑄込み等の反復生産技術の研究、公共空間の芸術表現研究
		宮永 春香 准教授	陶磁の表現及び理論の研究、陶磁における美術表現及び空間表現の研究、粉体成形を主とした窯業技術転用研究、陶磁釉薬の研究

専攻	コース 研究分野	担当教員	主な研究内容
工 芸	漆・木工	田中 信行 教授	漆造形表現及び理論の研究、塗りの造形の研究、東アジアにおける造形的特質の研究
		山村 慎哉 教授	漆の伝統技法から現代の技術を応用した幅広い制作方法の研究及び工芸における意匠と漆芸の可能性の実践
		青木 千絵 准教授	漆造形表現及び理論の研究、特に乾漆技法を用いた人体表現の可能性について
	金 工	原 智 教授	鍛金造形表現及び理論の研究、金属加工技術並びに金属着色技術全般の研究、伝統的表現技法と現代の工芸に対する研究
		水代 達史 准教授	彫金造形表現及び理論の研究、金属造形並びに加飾技法全般の研究、現代美術における金属工芸表現の研究
		上田 剛 講師	鑄金造形表現及び理論の研究、鑄造法全般並びに金属着色技法の研究、鑄金表現の可能性についての実践
	染 織	大高 亨 教授	染織の表現及び理論の研究、織の組織及び紋織技法の制作研究、テキスタイルデザイン及びデジタルテキスタイルの制作研究
		足立 真実 教授	染織の表現及び理論の研究、各種織物技法の制作研究、天然染料による染色の研究
		加賀城 健 准教授	染織の表現と理論の研究、各種染色技法による制作研究、染色における美術表現及び空間表現の研究
デ ザ イ ン	視 デ ザ イ ン	寺井 剛敏 教授	ブランディング、ソーシャルデザイン領域及びカラーユニバーサルデザインに関する研究
		鈴木 康雄 教授	写真・映像領域及び多様な素材による表現に関する研究
		廣瀬 純子 准教授	ファッション・コミュニケーションに関する研究
		坂野 徹 准教授	印刷、組版、インフォグラフィックス、ゲーム、物語、経済、公共哲学などを起点としたデザインと情報編集の研究
		下浜臨太郎 講師	メディアと表現に関する研究
		樺島 脩 講師	エンターテインメント分野の商品企画、事業企画に関する研究
	製 品 デ ザ イ ン	浅野 隆※ 教授	モビリティに関するデザイン研究
		河崎 圭吾 教授	家電製品のデザイン研究
		安島 論 教授	社会課題とデザインの関係、イノベーションメソッドに関する研究
		根来 貴成 教授	インテリア・オフィス・コントラクトにおける家具デザインの研究
		(未定)	(年度開始時には着任予定)
	環 境 デ ザ イ ン	角谷 修 教授	文化施設の展示環境、商環境とサイン計画の空間デザイン領域に関する研究
		鏑 隆弘 教授	自然環境保全、都市景観のデザイン、公園や緑地などの屋外公共空間のデザイン、庭園デザイン、古い庭園の調査に関わる研究
		畝野 裕司 教授	パッケージデザインと商業空間に関する研究
		北村 賢哉 教授	くらし空間領域のプロダクトデザイン研究・連携と横断によるデザイン教育の研究
西本 耕喜 准教授		建築と都市のデザインに関する研究	

一般教育等 理論指導	青柳 りさ 教授 大谷 正幸 教授 稲垣 健志 准教授	高橋 明彦 教授 荷方 邦夫 教授 デビッド・ブルスター 講師	桑村佐和子 教授 渋谷 拓 准教授
---------------	-----------------------------------	---------------------------------------	----------------------

※ 石田 陽介 教授(令和6年3月退職予定)

※ 保井 亜弓 教授(令和6年3月退職予定)

※ 浅野 隆 教授(令和6年3月退職予定)

令和5年度金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科
(修士課程) 入学者選抜試験日程

専攻コース等	絵画専攻		彫刻専攻	芸術学専攻
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本画 ・油画像 ・映像 		<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻 ・環境彫刻 	
出願受付	令和4年12月1日(木)～12月7日(水)			
作品(論文)提出	・日本画	令和5年 1月23日(月) ～1月25日(水)	令和5年1月23日(月) ～1月24日(火)	令和5年1月4日(水) ～1月6日(金) (論文又は作品提出)
	・油画像 ・映像	令和5年 1月23日(月) ～1月24日(火)		
試験	令和5年1月25日(水)～1月26日(木)			
合格発表	令和5年2月3日(金)			

専攻コース等	工芸専攻	
	<ul style="list-style-type: none"> ・陶磁 ・漆・木工 ・染織 ・金工 	
出願受付	令和4年12月1日(木) ～12月7日(水)	
作品提出	令和5年1月23日(月) ～1月24日(火)	
試験	令和5年1月25日(水) ～1月26日(木)	
合格発表	令和5年2月3日(金)	

専攻コース等		デザイン専攻	
		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚デザイン ・製品デザイン ・環境デザイン 	
一次選抜	出願受付 作品提出	令和4年12月1日(木) ～12月7日(水) (出願書類に同封)	
	一次選抜 合格発表	令和5年1月6日(金)	
二次選抜	試験	令和5年1月25日(水) ～1月26日(木)	
	二次選抜 合格発表	令和5年2月3日(金)	

研究計画書

志望するコース・研究分野において主に行いたい研究について、具体的に記述すること。		
ふりがな		受験番号
氏名		※
志望専攻	専攻	コース 研究分野

(注) ※の箇所は記入しないこと。

金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 修士課程

金沢美術工芸大学のキャンパス移転について

金沢美術工芸大学では「開かれた美の探求と創造のコミュニティ」をメインコンセプトに、令和5年10月のキャンパス移転を計画し、工事に着手しています。

新キャンパスでは、大学の活動を発信する場となる「アートプロムナード」や、囲われた空間で創作に集中できる「創作の庭」を配置するほか、全ての学生が専門分野を越えて利用できる「共通工房」をリング状に配置するとともに、展示や合評を行うスペースとなる「アート commons」を随所に配置することで、効率的な制作環境を構築し、学生相互が刺激しあえる空間を整備します。

また、隣接する用水沿いに遊歩道を整備し、キャンパス周辺の歩行環境の向上にも配慮する予定です。



アートプロムナード：大学の活動を広く発信する場となるキャンパスのメインストリート



創作の庭：共通工房に囲われ、学生が集中し自由に創作できるコミュニティ空間



金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学
〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

5-11-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa
920-8656 Japan
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>

